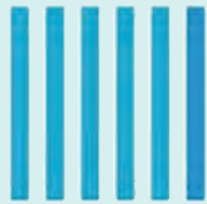


Lab. Times⁺

Des.2018
vol.3

Lab. Times⁺ vol.4

coming soon...



421 Lab.
地域共生教育センター
Regional Symbiosis Education Center

発行：北九州市立大学地域共生教育センター

発行日：2018年12月

編集：北九州市立大学地域共生教育センター

〒802-8577 北九州市小倉南区北方4-2-1

[TEL] 093-964-4092

[Mail] info421@kitakyu-u.ac.jp

編集者：陣内菜奈子（編集長）

黒松隆志 佐藤彰洋 鈴木穂香 宮本明梨



特集

「子どもを取り巻く環境」
について考える

ラボタイムズプラス

Lab. Times⁺ vol.3



今回のラボタイムズプラス vol.3では、「子ども」について取り上げます。少子高齢化が進む現代において、子どもたちが育つ環境はとても大事なものです。そんな子どもたちを取り巻く環境を少しでも良くしようと取り組んでいる 421Lab. のプロジェクトを紹介します。



CONTENTS

『子どもと 421Lab.』



04 子どもを取り巻く環境

—— 421Lab. の学生にインタビュー

10 子どもと “仲良くなれる” 5つの秘訣

—— 子どもが苦手な人もコレができればすぐに仲良し！

12 子どもと映画

—— 子どもを取り巻く環境に関する映画をご紹介します！

14 地域活動に参加しよう

—— 募集中の地域活動をご紹介します！

15 わたしたちがつくりました。

—— 本広報誌の広報班を、ちらっと。

子どもを 取り巻く 環境

最近、大学内や北九州市内で「子どもの居場所づくり」が行われていますが、今の子どもたちはどんな状況にあるのでしょうか...？

『子どもと 421Lab.』

私たち学生が子どもたちの為にできること。

多くはないけど、0ではない。

様々な思いをもった学生たちが子どもたちの為にできることって...？

「子どもと学生」の関係について考えてみませんか？



子どもの **今** そして **未来**

「子ども × 『食』」

食の問題と言えば、食事が出来ない海外の貧困の子どもたちを連想するかもしれませんが、私たちの身近にも様々な問題がありました。その中でも、子どもが一人で食事をしたり、インスタント食品で日々の食事を済ませたりと心身の発育に影響のある「こ食」が社会問題になっています。家庭の問題ゆえになかなか行政が干渉し難い子どもの「こ食」。地域の一員である私たちには、一体何が出来るのでしょうか。

see!→「食べる国際貢献PJ」... P.6
「食と農業まなび場PJ」... P.6
「子ども食堂応援PJ」... P.8

「子ども × 『学び』」

貧困を背景とする子どもの学力格差は小学生初期から存在します。そして年齢が上がるにつれ、子どもの学力の格差は拡大し、低い学力は進学率の低下につながります。そのため社会では、教育の「機会均等化」を目指して、教職員が一人ひとりの子どもをより丁寧に見る機会が増える「少人数学級」の導入が各地で検討されています。このような教育の問題解決は、一般的に公共設備や施設を表す「社会インフラ」になぞらえて「教育インフラの整備」と呼ばれ、行政が力を入れています。一方で私たちは何が出来るのでしょうか。

see!→「ハッピーバースデーPJ」... P.6
「若園保育園「英語で遊ぼう」PJ」... P.6
「桜丘小学校学習支援PJ」... P.8

子どもと関わる人が多い大学生（421Lab. のプロジェクト所属）に聞く

子どもを取り巻く環境と 421Lab.

法学部 法律学科 2年 甲斐裕基
子ども食堂応援PJ リーダー



子ども食堂応援プロジェクト

メンバー 32人 週に1回市民センターで活動

保護者の帰りが遅いことによる子どもたちの「こ食」を防ぎ、子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりを目的としています。市民センターで子どもたちと一緒に食事をしたり、遊んだり、勉強をしたりしています。

子どもが安心できる地域を。

地域のつながりが薄れ、子どもの居場所が減ってきている中で、私たちは子ども食堂を地域単位の家族とすることを目指しています。これからは、ご家族や地域の方々、大学生などを子ども食堂に招いてイベントを行い、子ども食堂が、「子ども・家族・地域を結ぶネットワーク」になるように取り組んでいきたいです。

食と農業まなび場プロジェクト

メンバー 13人 小学校での食育活動

「若い世代の食生活の改善」をテーマとして、大学生に限らず子どもにも目を向け、小学校等にも赴いて食育活動を行っています。活動を通して、プロジェクトメンバー自身も、健康的な食生活を送るために必要なスキル又知識を獲得しています。

栄養も習慣も、日々の積み重ね。

食事の栄養を命日意識している人は少なく、朝食を食べない人もいます。これらを解決するには、「食」を意識するきっかけづくりと継続的な食育が必要だと思います。小さい頃からの積み重ねや習慣が大人になってからの食生活につながると思うので、子どもたちに「食」についての意識を定着させていきたいです。

ハッピーバースデープロジェクト

メンバー 16人 月1回の誕生日会開催
保護者の仕事の関係で、放課後を家庭で過ごすことができない子どもが多くいます。そうした子どもたちに少しでも楽しく特別な時間を過ごして欲しいという思いで、ゼロから企画した誕生日会を開催しています。

自分が主役だと思って欲しい。

共働きの家庭が多く、学童保育に頼らざるを得ない子どもが増えているけれど、その現状は自分たちでは変えられません。だから、できる限り、子どもたちが寂しい思いをしない場を作りたいです。また、子どもたちにとってより価値のあるものになるように、誕生日会に「学び」の要素を加えていきたいと思っています。

法学部 人間関係学科 2年 長谷川敦子
ハッピーバースデーPJ リーダー



若園保育所「英語で遊ぼう」プロジェクト

メンバー 7人 保育所での英語学習活動

子どもたちに早い段階から英語に親しんで欲しいという目的で、英語を使って歌を歌ったり、英語で絵本の読み聞かせを行ったりしています。

法学部 法律学科 2年 遠藤薫乃
若園保育所「英語で遊ぼう」PJ リーダー



勉強「したい」を「できる」に。

子どもが動物園に行く月には、動物に関する英語を教えるなど、行事と関連させて身近なものから英語が学べるようにしています。勉強をする機会は誰にでもあるべきだと思います。勉強をしたいのにできないという状況は良くないと思うので、そういう子どもたちの手助けができたらと思っています。

子どもと関わることが多い大学生（421Lab. のプロジェクト所属）に聞く

子どもを取り巻く環境と 421Lab.

食べる国際貢献プロジェクト

メンバー 17人 月1回のフェア開催
「食の不均衡」という問題を解決するために、大学食堂にて TABLE FOR TOW (TFT) メニューを販売しています。
1食につき 20円を途上国の子どもたちの給食1食分の寄付金として届ける活動を行っています。

皆の「食」で世界の「食」を救う。

世界には飢餓や貧困で苦しんでいる途上国の子どももいれば、肥満に悩んでいる先進国の人もいます。そうした「食の不均衡」を解決するためには、世界中の一人ひとりが問題意識を持ち、同じ方向を向くことが大切だと思います。そのために、「学生に向けた、学生だからこそできる活動」を行っていきたいです。

桜丘小学校学習支援プロジェクト

メンバー 6人 週1回学校で活動

地域・家庭・学生が一体となって学童の学習支援に取り組んでいます。小倉北区の桜丘小学校にて、実際に授業に入り、「アシスタントティーチャー」として、担任の補助を行っています。

一人ひとりの為の支援が大切。

北九州市には一人親世帯が多いというデータがあり、その影響であるか定かではありませんが、子どもたちの間で学力の差が見られます。その差を埋めるために少人数でのクラス分けを行ったり、一人ひとりに合わせた個別の対応をしたりすることが必要だと感じています。

担当編集者の声

子どもを取り巻く環境には様々な問題があり、深刻な状況であると感じました。今の子どもたちの環境はこれからの子どもたちの将来や私たちの社会にも影響が及びます。今回の記事をきっかけに多くの人がこの問題に関心を持ってくれればいいなと思います。



子どもと映画

children × movie

映画には、子どもを取り巻く環境を題材にした作品が多くあります。
レンタルショップや大学の図書館などでも借りることができる、
私たち 421Lab. 広報班オススメの映画をご紹介します！

監督：パスカル・プリツソン
製作国：フランス
配給：キノフィルムズ



それでも生きる
子供たちへ
(二〇〇五年・一三〇分・ドキュメンタリィ)



あらすじ

ケニアのサバンナをはじめ、アルゼンチン、モロッコ、インドの道なき道を何時間もかけて通学する子どもたちを追ったドキュメンタリー映画です。通学路は危険だけでなく、大人の足でも過酷な道のりですが、それでも子どもたちは大好きな学校のために毎朝何時間も時間をかけ通っています。

別の大陸、違う言語、宗教、生活環境の中で暮らすが同じ瞳を持った4人の子どもたち。そんな彼らを見て気づかされるのは、教育とは将来を切り拓くためのパスポートだということです。



希望に満ちた彼らは眩しく尊敬できました。学びたいときに学ぶことができるという素晴らしいことについて恵まれた環境で育って来た私たちは今一度考えるべきことだと思いました。

両親の離別、ストリートチルドレン、HIV胎内感染、少年兵士など、7人の子どもたちの現実が、7つの国の監督により、ドラマチックに描かれたオムニバス映画です。子どもならではの恐れを知らないたくましさ。劣悪な状況をも新鮮な遊び場に変えてしまう想像力。大人だったらくじけてしまうような絶望的なときも、ただひたむきに今日を生きる純粋な表情。そのような子どもたちの姿に、心の奥があたたかくなる、生きる強さを与えてくれる感動作です。

私達がどれだけ恵まれた環境で育ったか、実感しました。子どもを取り巻く環境を世界規模で見直していく必要があると感じました。

子どもが苦手な人もコレができればすぐに仲良し！

子どもと“仲良くなれる” 5つの秘訣

呼び間違いには気をつける。

子どもの心をはっきりとキャッチ！

①名前を呼ぶ

名前を呼ぶことで、子どもに小弓を持っていることを示すことができる。自分に興味を持ってくれる人には親近感が湧く。

子どもは見下ろされると

威圧感を感じてしまう！？

特に小さい子！

②目線の高さを合わせる

子どもにとって大人は大きな存在。

背を屈めたり、しゃがんだりして、子どもと同じ目線の高さにすることが大切。

③最初から飛ばしすぎない

子どもは初めての人に警戒心を抱くのであえて最初から遊ぼうとしないこと。

空気のような存在になり、子どもの方から興味を抱いてくれるのを待つ。

ハイテンションで挨拶をしてしまうと

中にはビックリしてしまう子も。

「友達」感覚で接する！

話すときの目線や口調も。

④大人と同等に接する

同じ目線で立ってくれる大人を子どもは尊敬する。上から目線でもなく、下媚びるでもなく同じ高さで自然体で接することが大切。

Level UP!!!

①～④ができたら

⑤に挑戦！

⑤自分が楽しむ

いくつの子と遊ぶときでも、まずは自分が楽しむ。子どもと一緒に転げたり、心から笑ったりすれば子どもとさらに仲良くなれる。

「遊んであげる」というスタンスではなく一緒に楽しみ遊ぶことでもっと仲良く！

地域活動に参加しよう。

421Lab.には、子どもと関わることでできる地域活動の募集情報が沢山届きます。子どもが好きな人、子どもとの関わり方を学びたい人など、ぜひ参加してみてください！

【おもちゃライブラリー】

[うさぎちゃんライブラリー]

毎月第1・3土曜日 13:00~16:00

八幡西区黒崎 3-15-3 コムシティ 6階

[くまちゃんライブラリー]

毎月第2・4土曜日 13:00~16:00

小倉南区春ヶ丘 10-2 療育センター東棟

主に障がいのある子どもたちやその家族を対象に、おもちゃの貸し出しや遊びの提供を行います。

【生き生き子ども講座】

[シーグラス工作]

12月8日(土) 10:00~12:00

北方市民センター

小学生1年生~6年生を対象に、子どもたちと一緒に、シーグラス作りを行います。



【志免町学習サポート】

毎週土曜日 9:45~12:15

志免町総合福祉施設「シーメイト」

交通費など 1回 1500円

志免町立小・中学校に通う生徒を対象として、学習支援を行います。



【北九州 YMCA

ボランティアリーダー】

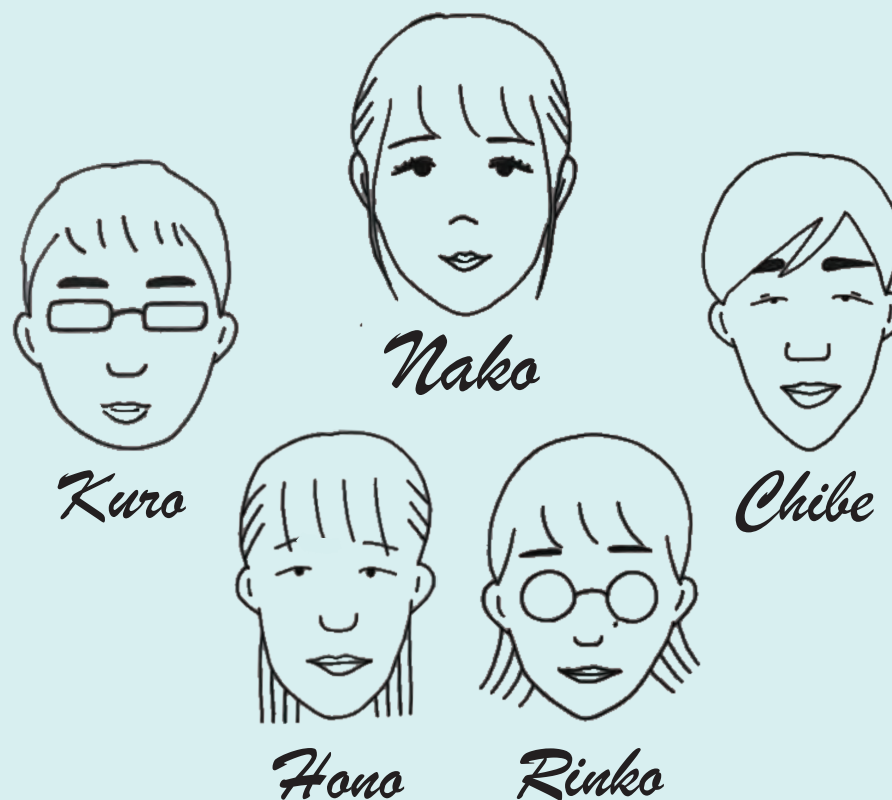
主に幼児~小学生を対象にした定例野外キャンプや正気休暇期間中のスクールの実施に伴い、子どもたちと元気いっぱい遊んで関わってくれるボランティアリーダーを募集しています。

(※日程やプログラム内容等詳細は421Lab.まで。)

——— 詳しくは 421Lab. まで。

421Lab. 広報班

421Lab. Public relations team



わたしたちがつくりました。

Lab. Times+ vol.3 の編集長を務めた Nako です。みなさん、今回の Lab. Times+ はいかがだったでしょうか。「子どもを取り巻く環境」について取り上げましたが、一人だとなかなか考えない重たい問題ですね。Lab. Times+ をいつも読んでくれる人にとっても、たまたま手に取ってくれた人にとっても、今月の Lab. Times+ がこういった社会問題に目を向けるひとつのきっかけになってくれれば嬉しいです。ぜひ次回の Lab. Times+ もお楽しみに...